



市民の声を市政に反映
杉森ひろゆき
 市議会議員ニュース

杉森弘之後援会広報委員会発行
793号 2020年2月4日
 〒300-1235 牛久市刈谷町1-41-8
 Tel・Fax : 870-0335
 携帯 : 090-5587-7693
 Mail : sugimori@max.hi-ho.ne.jp

4Fを複合的文化フロアに

エスカード牛久の活性化

12月定例会一般質問 ③

杉森議員は市議会12月定例会で、①土地開発基金制度の廃止、②いわゆる「たまり場」補助金の改善、③エスカード牛久の活性化、について一般質問しました。今号では③を掲載します。

公共施設にも関心

【杉森議員の質問】エスカードの活性化のために、商用スペースとしての民間企業の誘致と共に、公共施設の設置は、市民が強く関心を寄せている問題です。

市長はすでにエスカード4階の空きスペースに美術館を整備する構想を明らかにし、建設部長は「ギャラリーなどの類似施設を念頭に置いている」と説明しています。

そこで4階の空きスペース全体の構想をどのように考えているのか、まず質問します。

中心拠点施設として

【建設部次長の答弁】4階フロアの利活用については、これまで美術館や、図書館、学習室等、市民の皆様や、議員の皆様から、様々な意見が寄せられており、これらも踏まえ、どのような利用がよいのかを正に現在検討を進めているところです。

この、4階フロアについては、単にエスカード牛久ビルの空き床の解消としてではなく、駅前に位置し、中心拠点施設としての役割を担うことができるという特性を最大限に活かし、「集客力のある施設」、「多世代の交流が可能となる施設」、「学生等が積極的に利用できる施設」という要素を念頭に、多くの市民の皆様から愛される施設としての検討を進めていきたい

柏崎原発

続く安全対策 工事費1兆円に倍増 今後も追加対策を迫られ 費用が膨らむ可能性

東電が再稼働を目指す柏崎刈羽原発6、7号機では、地震、津波などに対する安全対策工事が続いており、先行する7号機では、地盤改良などの液状化対策が佳境を迎えている。全体の工事費は1兆円を超える見通しで、コストの増大が顕著となっている。

原子力規制委の新規制基準は2013年7月に施工された。東電福島第一原発事故を教訓に、過酷事故対策を電力会社に義務付け、地震、津波対策も強化した。

柏崎刈羽原発では、福島第一原発事故があった直後の2011年3月から工事が進められている。

規制委は2017年12月に6、7号機が新基準に適合していると判断した。

しかし2018年2月、重大事故時の排気設備「フィルター付きベント」などの重要設備が、地震時に地盤の液状化による影響を受ける可能性が浮上。設備周辺の地盤改良、地中に打ち込むくい増設、地盤沈下を軽減する補強材の埋設といった追加の対策を迫られた。(中略)

東電は同原発の安全対策工事費を約1兆1690億円と試算し、当初想定の2倍近くに増加した。今後も追加対策を迫られ、費用が膨らむ可能性もある。

(1月3日「新潟日報」より抜粋。)

と考えています。

歴史資料スペースも

【杉森議員の質問】次に、4階を複合的文化フロアにしてはどうかという考え方について質問します。4階にはすでにエスカードホール、エスカードスタジオ、講座室、和室等が存在しているわけですが、これに図書館、美術館、歴史資料館等の要素を一体化し、連絡通路スペースの活用も含め、複合的文化フロアにしてはどうかという構想です。

歴史資料館的な要素を含めて

牛久市の文化を対外発信

特に歴史資料館的な要素を含めることについては、郷土の歴史と文化を伝え、広めることは、教育上大切なことであるだけでなく、牛久市の文化を対外的に発信することにもなり、有益なことと考えます。

牛久市の歴史については、すでに体系的に整理された「牛久市史」があり、それを編纂するための大量の歴史・風俗資料があります。この牛久市史は全国的にも注目され、私どもの会派で視察した福岡県柳川市も牛久市史を注目し、柳川市史作成にあたり、研修に来たとされていました。実際に、柳川市では立派な柳川市史を作成し、展示、活用、また新資料の作成に力を入れています。牛久市においては展示の面が決定的に不足していると考えられます。牛久市史の資料の活用も含め、展示のための歴史資料館的なギャラリーを4階の複合的文化フロアに含めるべきと考えますが、執行部の見解を聞きます。

総合的・一体的な利用へ

【建設部次長の答弁】公共的利活用の検討につきましては、現在4階を前提に、検討を進めています。

具体的にどういった施設かという点については、先ほども申し上げた通り、まだ検討段階であり、申し上げることができませんが、既存施設である4階のエスカードホールや会議室等との連関性を持たせることで、より利便性の高い



エスカード牛久

公共施設の運営が可能となることから、総合的・一体的な利用も踏まえた検討を進めているところであります。

4階対策チームの設置を

【杉森議員の質問】最後に、4階の公共施設に関しては、他のフロアの商用スペースとしての民間企業の誘致とは別の性格のものであり、4階の公共施設のための、4階空きスペース対策チームの設置が必要かと考えますが、現在の状況と今後について伺います。

検討会議を立ち上げ

【建設部次長の答弁】4階フロア利活用の検討については、市民の皆様や、エスカード活性化懇話会、商工会等各団体からのご意見を参考に検討しています。

ご質問の対策チームの設置についてですが、一部の部門だけで検討するのではなく、必要性や効果などを、あらゆる視点から考えるため、各部の次長を構成員とした検討会議を立ち上げています。

当会議においては、市の全体的な方向性と、各部署で考える可能性の、両面をすり合わせながら協議を重ねているところです。

今後は、当会議にて素案をまとめ、部長会議、庁議等を経て、皆様にもお示ししていく予定です。